

1 廃棄物のゼロエミッション活動の展開

3R (リデュース・リユース・リサイクル) を推進する廃棄物ゼロエミッション活動に、2001年度から取り組んでいます。今後も、「第三次循環型社会形成推進基本計画 (2013年5月閣議決定)」で示された、「リサイクルより優先順位の高い2R (リデュース・リユース) の取組みがより進む社会経済システムの構築」などの「質にも着目した循環型社会の形成」に資する取組みを継続していきます。

(1) 産業廃棄物

当社が排出する産業廃棄物には、火力発電所の運転に伴う副産物 (石炭灰、石こう) や工事に伴う撤去資材などがあります。これらの産業廃棄物については、適切な管理・処理を行うとともに、発生量の抑制 (Reduce:リデュース)、再使用 (Reuse:リユース)、再生利用 (Recycle:リサイクル) の3Rを実践しています。

産業廃棄物の発生状況とリサイクル率 (2012年度)

	発生量 (トン)	リサイクル量 (トン)	リサイクル率 (%)	主なリサイクル用途
石炭灰	641,000	641,000	100	セメント原料 コンクリート混和材
重原油灰	1,540	1,540	100	バナジウム回収
石こう	110,000	110,000	100	セメント原料
汚泥	6,080	2,500	41	セメント原料
廃油	2,080	2,060	99	燃料油に再生
廃プラ	187	179	96	助燃材
金属くず	12,700	12,700	約100	金属材料
廃コンクリート柱	12,400	12,400	100	路盤材、建設骨材
ガラス・陶磁器くず	289	287	99	ガラス製品材料
特別管理産業廃棄物*	631	252	40	セメント原料
その他	77	75	97	助燃材
小計	146,000	142,000	97	
産業廃棄物総合	787,000	783,000	99	

(注)有効数字3桁にて記載。四捨五入のため合計値が合わないことがある。
※:「廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄物処理法)」において、人の健康または生活環境に係る被害を生ずる恐れがある性状を有するため特別管理産業廃棄物として規定されている汚泥、廃石棉等、廃油、廃アルカリ及び廃酸。

WEB 産業廃棄物の発生量とリサイクル率の推移については九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 産業廃棄物の発生量とリサイクル率

■ 発生量の抑制 (リデュース) への取組み

発電所では、発電設備の保全リスク管理*を徹底しており、これに基づく適切な工事計画の策定・実施により、廃棄物の発生量抑制に取り組んでいます。

※:リスクマネジメントの考え方を設備保全に適用した手法の一つであり、設備の劣化・破損・故障に起因する種々の影響をリスクとして捉え、そのリスクの大きさに応じて設備保全方針を決定していく手法。

■ 再使用 (リユース) への取組み

配電工事等で撤去した電力用資機材については、再使用に必要な性能、品質を有しているかなどを適正に判断し、再使用しています。

配電用資機材の再使用状況 (2012年度)

	撤去数 [A]	再使用数 [B]	再利用率 [B/A] (%)
柱上変圧器 (台)	25,837	25,267	98
柱上ガス開閉器 (台)	879	819	93
低圧電力量計 (個)	873,741	840,857	96
コンクリート柱 (本)	5,509	5,509	100
高圧線 (km)	335	335	100
低圧線 (km)	1,095	1,095	100

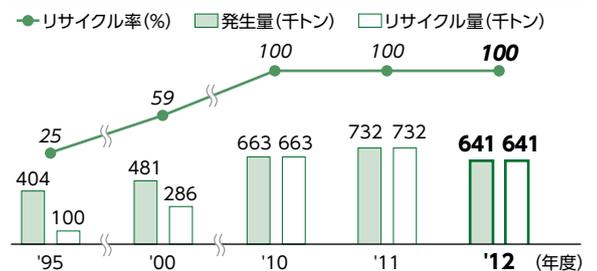
※:旧仕様・型式等により、再使用できないものや修理対象外のものは除く。

■ 再生利用 (リサイクル) への取組み

2012年度は、発生した産業廃棄物約79万トンをはほぼ100%リサイクルしました。産業廃棄物の大部分を占める石炭灰については、石炭灰の特性を活かしたセメント原料などへの有効利用を行っており、100%リサイクルしています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 石炭灰の有効活用

石炭灰の発生量とリサイクル率

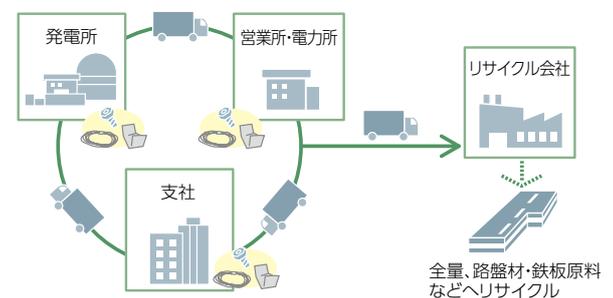


WEB その他の取組みについては九州電力ホームページ
関連・詳細情報 (P2参照) > 配電用資機材の再生利用状況

■ 産業廃棄物の共同回収

全社的かつ恒常的に発生している産業廃棄物については、対象品目を定め、複数事業所を一括回収後、全量リサイクルする「共同回収」を行っており、リサイクル率向上に加え、効率的回収による輸送面での環境負荷低減にも努めています。

共同回収の流れ



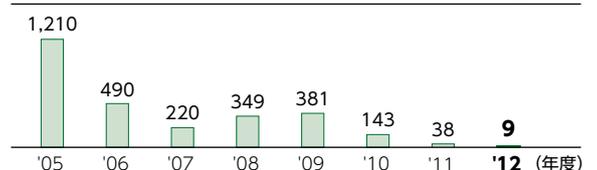
●対象品目
廃プラスチック類、金属くず、ガラス・陶磁器くず、木製パレット、廃蛍光管、廃乾電池

■ 産業廃棄物の社外埋立処分量の抑制

2012年度の産業廃棄物の社外埋立処分量は、共同回収の的確な運用などにより9トンまで抑制しました。

産業廃棄物の社外埋立処分量

単位: トン



用語集を
ご覧ください

- 循環型社会
- ゼロエミッション
- 3R
- 産業廃棄物
- 石炭灰
- 石こう
- リサイクル率
- 重原油灰
- バナジウム
- 汚泥
- 石綿 (アスベスト)
- リスク
マネジメント
- 柱上変圧器
- 柱上ガス開閉器